

LET'S ENJOY OUTDOOR

レッツエンジョイアウトドア



11月の秋キャンプを楽しもう!

気温や持ち物をチェックして、秋キャンプを思いっきり楽しもう!

猛暑の夏が過ぎ、キャンプが快適な季節がやってきました! しかし、季節の移り変わりは早いもので、11月のキャンプとなると寒さを気にしなくてはならない時期になってきます。暦の上では「秋キャンプ」といっても、冬用の装備でのぞむのが良いでしょう。



標高や場所によって異なる気温



標高(〜500m)のキャンプ場

平均気温(11月)	最高気温(11月)	最低気温(11月)
9.7℃	16.1℃	4.1℃

標高(〜1000m)のキャンプ場

平均気温(11月)	最高気温(11月)	最低気温(11月)
5.8℃	12.1℃	1.6℃

標高(〜1500m)のキャンプ場

平均気温(11月)	最高気温(11月)	最低気温(11月)
1.8℃	7.8℃	-2.9℃

地域差はありますが、500mごとに平均気温を見ていくと、少しずつ下がっていくのがわかります。

秋キャンプのオススメ持ち物



← シュラフは対応温度マイナスレベルの冬用シュラフを用意の方が安心です。マットもしっかりと厚みがあり、R値が高いものを選ぶのが◎。



→ 気軽に暖を取るのならやはりカイロや湯たんぽ。まだ11月だからと油断せずに用意しておくことがオススメです。寝る30分前からシュラフに入れておくのも◎。



← 服装はヒートテックやダウンジャケットを活用して重ね着を意識するのが◎。重ね着をすることで気温によって調節がしやすいです。

秋キャンプの豆知識



← キャンプ場に電源がなくても電源サイトやポータブル電源を使って、ホットカーペットや電気ヒーターなどの電化製品を活用するという手段もオススメ! 電気の方で暖まっちゃいましょう。

ガスストーブや灯油ストーブよりも比較的に安全なので、小さいお子さんがいるファミリーキャンパーさんにもオススメです!



← 電源のないキャンプ場や大容量のポータブル電源をお持ちでない方は、対流型の灯油ストーブを検討してみましょう。灯油を燃料とし、空気を送るファンがないので、電気をまったく使いません。

ファンがないので音が静かなのもメリット。暖かい中でも自然の音を楽しめます。

また広がっている天板にお鍋などを置いて調理することもできるので、とても便利!